



2026年3月30日

各位

会社名 株式会社明電舎  
代表者名 代表取締役 執行役員社長 井上 晃夫  
(コード：6508 東証プライム、名証プレミア)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション推進部長 笹本 紋子  
(TEL：03-6420-8100)

## 風力発電所リプレース投資に関するお知らせ

当社は、2023年2月27日に開示した「風力発電所リプレースの延期に関するお知らせ」において、当社の連結孫会社である株式会社エムウインズ八竜が秋田県山本郡三種町で運営する「八竜風力発電所」のリプレース（風力発電機建て替え）を延期する旨をお知らせしておりましたが、今回2026年3月30日開催の取締役会において、本件について改めて投資判断を行い、リプレースに関する約110億円の投資を決議しましたので、以下の通りお知らせいたします。

### 1. これまでの経緯

当社はサステナビリティ(ESG)経営の推進とカーボンニュートラルへの貢献のため、再生可能エネルギー関連事業に注力しています。その一環として株式会社エムウインズ八竜が八竜風力発電所を保有し、現在はFIT(固定価格買取制度)による売電事業用施設として運用しています(2027年1月にFITの買取期限満了予定)。2021年12月27日に開示した「風力発電所リプレース投資に関するお知らせ」にあるとおりリプレースを一度決定しましたが、2023年2月27日、「風力発電所リプレースの延期に関するお知らせ」にて、資材・建設コスト上昇や再生可能エネルギー需要の高まり、エネルギー価格の高騰といった環境の変化を受け、投資の前提条件が変わったと判断し延期を発表いたしました。

### 2. このたびの投資決定の背景

当社は、中期経営計画2027において1.5°Cシナリオに準拠した環境ビジョンへと見直し、2040年Scope2ゼロ達成を掲げました。その施策の一環として、2027年1月のFITの買取期限満了を機に、発電効率を向上させた八竜風力発電所のリプレース投資を決定いたしました。これにより、外部環境に左右されない長期安定的な再生可能エネルギー電源を確保し、カーボンニュートラル実現に向けた戦略的脱炭素電源として活用し、環境価値と企業価値の向上を実現してまいります。

### 3. 設備投資の概要

八竜風力発電所の風力発電機建て替え	
投資金額	約110億円
投資の目的	自社工場への活用、または売電事業 予定
発電設備の出力	28,000kW(陸上風力7基)
所在地	秋田県山本郡三種町
工事着工	2027年4月 予定
稼働開始時期	2029年4月 予定

### 4. 今後の見通し

本件による2026年3月期の当社連結業績に与える影響につきましては軽微です。今後、公表すべき事項が発生した場合には、速やかに公表いたします。

以上